

取組市町名	四国中央市	所属	経営企画課
▽取組事例名	NPO法人による図書館運営	▽取組期間	平成22年度～継続中

▽取組概要

市内図書館をNPO法人による指定管理とすることで、営利の追求や図書館司書職員等の処遇低下を抑制する一方、ボランティア等地域活動を実績とする団体による、より図書館利用者のニーズに応じた、かつ民間活力の利点を活かした柔軟な運営を行う。

▽取組みの背景

平成17年度にアウトソーシング計画を策定し、市が実施している各業務の見直しをおこなった。「民間でできることは民間で」の基本理念のもと、アウトソーシング実施計画によるコア業務と委託可能業務との分類を実施した。市内4図書館については、将来的に指定管理者による運営を検討することとなった。

▽取組みの狙い・具体的内容

(取組みの狙い)
民間運営によるサービスの拡充（休館日数減、利用者ニーズに応じた読み聞かせ会などの企画など）
臨時職員の処遇改善

(具体的内容)
平成18年度に指定管理者検討委員会を設置し、制度導入の目的を①民間活力による柔軟な経営、②営利を追求せずかつ過剰な経費節減を主眼としない安定したサービスの提供、③現在勤務臨時職員の処遇改善、④地域ニーズに応じたサービス提供の4点とし協議を行った。その結果、図書館活動に関わりのある団体や個人等で構成するNPO法人に管理を行わせることが妥当との結論に至った。以後詳細事項を協議、平成22年4月から半年間の移行準備期間を経て、同年10月より正式に管理を移行した。

▽取組みを進めていくなかでの課題・問題点（苦勞した点）

- ・図書館運営においては効率化を主眼とした指定管理者制度は適さないとの議論があり、当市ではNPO法人による運営によって提供されるサービスの向上を重視した。
- ・NPO法人による指定管理の事例が全国的にも少なかったこと。

☆工夫した点

NPO法人の性格上、経営・経理に関するノウハウが低いため、会計事務所や労務管理事務所等に一部業務を委託し、適正な運営に努めている。

▽取り組みの効果

NPO法人の提案により次の各事業を実施し、利用者より好評を得ている。

- ①一部図書館において開館日数を拡大（祝日翌日に実施していた振替休館の廃止）
- ②法人会員ボランティア等の協力を得た各種行事（イベント、ロビー展）の実施。
- ③利用者ニーズ等に応じた空間の展開（児童書架室の改修、照明のLED化等）
- ④読書推進月間にあわせたイベント（「龍馬の手紙を読む」朗読コンサート）の実施。
- ⑤児童向けイベントの拡大（絵本作家によるライブコンサート、移動動物園等）など

▽住民（職員）の反応・評価

平成23年10月に実施した利用者アンケートでは4人に1人が満足度が向上した（満足度が下がったとの回答者は1%）と答えた。また正規職員化により職員満足度も向上、賃金や待遇面での処遇改善によるモチベーションの向上により、史書資格保持者が年々増加している。

☆取り組み効果を踏まえたフォローアップ

「協働のまちづくり」の理念のもと、図書館運営に一層の市民の参画を得るために次の取り組みを行う。

- ①定期的に利用者アンケートを行い、運営状況についてモニタリングする
- ②市民のニーズに応じた蔵書揃えを行うため、選書会議に市民の参加を促す。

☆将来的な構想のほか、他団体へのアドバイス

■図書館と博物館協働による新たなサービスの展開

より広く文化振興を図るため、博物館と図書館との連携（MLA連携）を強化し、包括的な事業運営を行う。

■NPO法人「紙のまち図書館」

各種団体とのネットワーク構築を図りながら地域社会の拠点としての「読書コミュニティ」を目指す。そのための最重要課題が人材育成であり、「図書館へ行けば何でも分かる」と利用者から思ってもらえるように、より一層専門性を高めるために勉強会・研修を重ね、企画力や編集能力を磨くこととする。